

内閣総理大臣杯争奪
第39回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表

2010年5月4日 11時40分開始

2回戦

東京体育館 B - 3

三重チャリオッツ 48
(東海北陸)

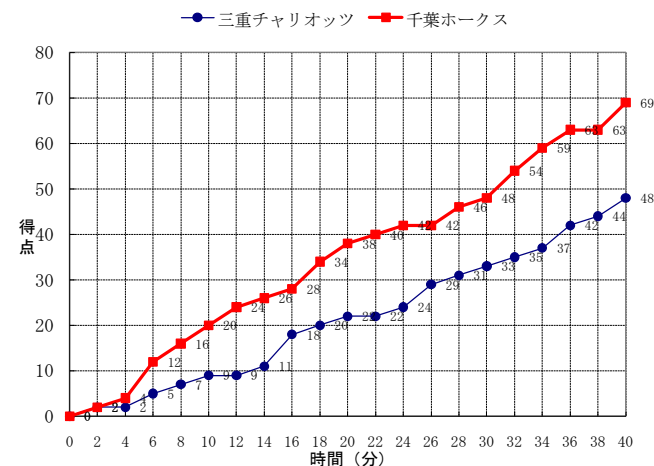
9 1クォーター 20
13 2クォーター 18
11 3クォーター 10
15 4クォーター 21

◎ 千葉ホークス 69
(関東)

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
5	前田 浩司 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-	* 4	土子 大輔 (4.0)	15	1	5	2	-	-	4
6	稲葉 潤一郎 (3.5)	8	0	4	0	-	-	3	5	植木 隆人 (2.0)	2	0	1	0	-	-	0
* 7	山口 幸伸 (3.5)	0	0	0	0	-	-	1	6	下村 浩之 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
* 9	楠後 武文 (1.0)	4	0	2	0	-	-	1	* 7	田中 恒一 (3.0)	6	0	3	0	-	-	0
* 11	三浦 文閣 (2.5)	13	3	2	0	-	-	0	8	坂井 大 (2.0)	0	0	0	0	-	-	2
* 12	奥田 智也 (4.0)	21	0	8	5	-	-	4	9	阿部 匡志 (2.0)	2	0	1	0	-	-	0
14	伊藤 真大 (2.0)	0	0	0	0	-	-	0	10	千脇 貢 (2.5)	14	0	7	0	-	-	1
* 15	須藤 慎也 (2.0)	2	0	1	0	-	-	0	12	田仲 幸生 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
									* 13	森 紀之 (2.0)	10	0	5	0	-	-	0
									* 14	鈴木 明将 (3.5)	14	0	7	0	-	-	1
									* 15	京谷 和幸 (1.0)	2	0	1	0	-	-	0
									16	伊東 容臣 (4.0)	4	0	2	0	-	-	1
									17	宇埜 雄太 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	高田 千絵								コーチ	菊地 哲博							
Aコーチ	金谷 衣里子								Aコーチ	猪田 博敏							
マネージャー	芝崎 静香								マネージャー	牛込 公一							
マネージャー	小林 恭子								マネージャー	左東 摩子							
マネージャー	荒木 由里子								マネージャー	浪川 明美							
合計		48	3	17	5	0	0	9	合計		69	1	32	2	0	0	9

主審： 増竹 昇
副審： 田畑 洋
副審： 正岡 京子

得点経過



〔戦評〕

【1Q】
千葉ボールでスタート。開始4分、お互い良いディフェンスで両チームともなかなかシュートが決まらない。千葉が流れを変えるためタイムアウト。4番を16番に替え、ディフェンスをオールコートプレスにし、千葉が流れを掴む。三重も12番のランニングシュートでファウルをもらい、カウントワンスローを決めるが、千葉のオールコートプレスに三重のターンオーバーが目立つようになる。

【2Q】
三重ボールでスタート。千葉9番、16番と連続シュートで加点していく。三重11番のランニングシュート、12番のシュートファウル後のツースローを確実に決め、喰らいついていく。千葉のシュートが外れ、千葉の得点が伸びない中、三重の11番のスリーポイントが決まる。千葉の激しいディフェンスと、速い攻撃で徐々に得点が離れて2Q終了。

【3Q】
両チーム激しいディフェンスで互角の攻防の中、三重の11番の二本目のスリーポイントが決まるが、尽かさず千葉の14番ミドルで得点し互角の戦いで3Q終了。

【4Q】
千葉4番のファウルで、三重12番がツースローを決めて4Qがスタート。千葉のディフェンスが更に激しくなり、千葉のペースになっていく。千葉4番、ゴール下や、スリーポイントシュートで突き放す。三重も11番のスリーポイント等で食い下がるが、総合力に勝る千葉が勝利した。

(担当：千葉/河口/高橋)